

経営課題1

多くの区民が、近所づきあい、つながり、きずながあり、ふるさと城東区を誇りに思うまちづくり

めざすべき将来像（概ね10～20年間を設定）

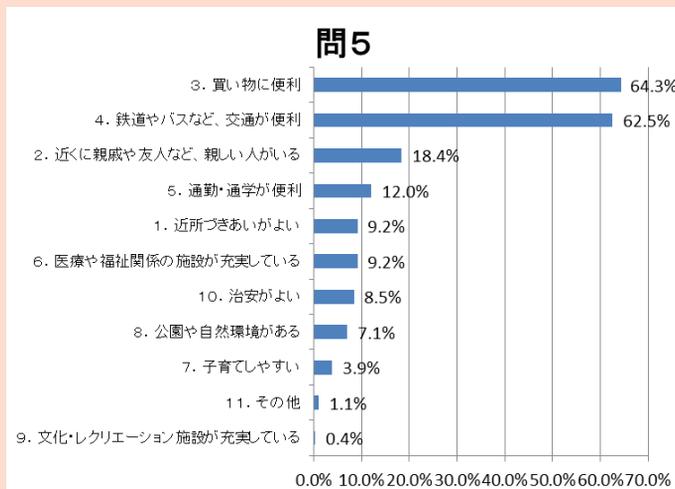
さまざまな活動主体が互いに連携して活動し、コミュニティが豊かになっている

現状・データ

H27区民モニター

[問4]城東区は住みやすいまちと感じる区民 97.2%

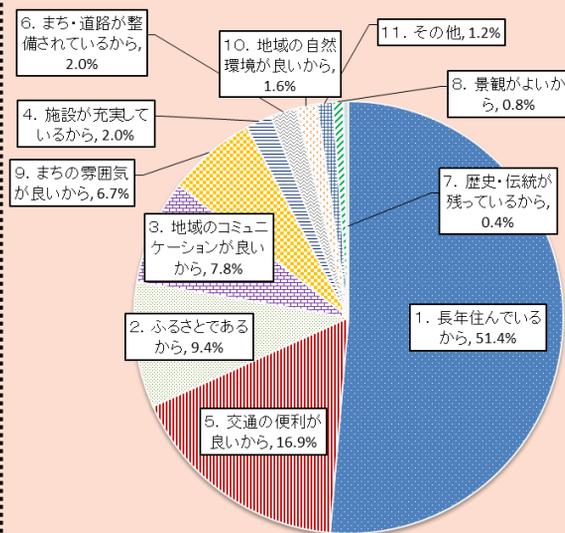
[問5]住みやすいと感じる理由（2つまで選択）



（同資料 3ページ掲載データ再掲）

[問8]城東区に愛着を感じる 87.7%

[問9]愛着を感じる主な理由



（同資料 4ページ掲載データ再掲）

現状・データ

◆H27区民モニター：あなたにとって住民同士の「つながり」や「きずな」があると感じますか。(単位：%)

問6		1. 感じる	2. ある程度感じる	3. あまり感じない	4. 感じない	無回答
全体		18.2	47.4	25.4	6.9	2.1
年 代 別	20歳代以下	15.8	47.4	26.3	10.5	0.0
	30歳代	11.8	49.0	29.4	9.8	0.0
	40歳代	13.0	42.6	33.3	7.4	3.7
	50歳代	8.6	57.1	20.0	11.4	2.9
	60歳以上	25.8	46.2	22.0	3.8	2.3

◆H27区民モニター：住民同士の「つながり」や「きずな」があると感じる主な理由をお選びください。(単位：%)

問7		1. 日頃からあいさつをする相手がいるから	2. 祭りなど地域イベントに参加しているから	3. ボランティア活動に参加しているから	4. 子育てや学校を通じて知り合いがいるから	5. サークルや習い事を通じて知り合いがいるから	6. ラインやフェイスブックなどのSNS(※)で知り合いがいるから	7. その他
全体		66.5	15.7	4.7	8.9	2.6	0.0	1.6
年 代 別	20歳代以下	58.3	25.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	30歳代	61.3	16.1	0.0	22.6	0.0	0.0	0.0
	40歳代	53.3	23.3	3.3	20.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	78.3	4.3	8.7	0.0	4.3	0.0	4.3
	60歳以上	70.5	14.7	6.3	2.1	4.2	0.0	2.1

分析

- ・住みやすいと感じている区民は多いが、その理由の大半は「交通や買物が便利」ということである。また、愛着を感じると87.7%の方が答えているが、その理由についても、「長年住んでいるから」「交通の便がよいから」が主なものとなっている。「地域コミュニケーションがよい」や「まちの雰囲気が良い」、「歴史伝統が残っている」という理由は10%に満たない値となっている。
- ・「つながり」「きずな」については高齢者層と若年層との感じかたに違いがある。

課題

- ・交通や買物に便利という理由だけでなく、地域コミュニティや都市魅力を理由としてまちに愛着を感じ、また、年齢を問わず、「つながり」「きずな」を感じるまちづくりへの取組が必要である。

【戦略1-1】

タテ・ヨコ・ナナメでつながるまちづくり

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

様々な活動主体が連携し、コミュニティが豊かになっている状態

《成果目標》

- ・ 区民アンケートで住民同士の「つながり」や「きずな」があると感じる区民の割合 平成29年度末までに60%以上（区民モニター：平成27年度実績 65.6%）
- ・ 各活動を通じてまちづくりの輪が広がったと感じる区民の割合 平成29年度末までに80%以上（事業アンケート：平成27年度実績 80%）
- ・ イベント・事業に参加したい（次回も参加したい）と思う区民の割合 平成29年度末までに80%以上（区民アンケート：平成27年度実績 73.0%）

戦略

- ・ 各地域活動協議会が取り組んでいる、様々な活動の内容や会計について、広く区民に周知し、住民への活動の浸透と会計の透明化を図るとともに、その活動が地域課題の解決やコミュニティづくりに寄与していくように支援する。
- ・ 小学校等を拠点として取組まれている生涯学習活動を支援し、それぞれの活動を通じて、「区民同士を結ぶお互いのつながりと思いやり」を育むことにより、地域コミュニティづくりを推進する。
- ・ 城東区教育会議を開催し、地域や保護者の声を反映した学校・教育関係の具体的な取組やコミュニティづくりを推進する。
- ・ 「城東区ゆめ～まち～未来会議」や「アイラブ城北川実行委員会」など、まちづくりの担い手となる住民の自主的活動が活性化するように支援する。
- ・ だれもが気軽に音楽・芸術文化にふれあえる機会の提供と、区民の芸術文化活動への支援により、心豊かでうるおいのあるまちづくりを推進する。
- ・ 気軽にスポーツに参加できる機会を提供し、スポーツを通して人と人とのつながりを広げる。
- ・ 「区民による緑化活動」を支援することにより、主体的かつ継続して地域の緑化を担う人材を育成し、花と緑にあふれたまちづくりを推進する。

戦略1-1の具体的取組

【1-1-1 地域活動協議会の情報発信などの支援】

- ①区役所及び中間支援組織による地域活動協議会に対する活動支援
（会計処理及び情報公開、住民参加促進等の支援）
- ②地域活動協議会に関する各活動の情報発信支援
 - ・SNSやホームページを用いた情報発信の継続支援、及び、他の広報媒体の作成支援
 - ・区広報誌等における活動紹介の継続

【1-1-2 教育・生涯学習等】

- ①「小学校区教育協議会ーはぐくみネットー」事業
 - ・学校・家庭・地域が一体となって、子どもをはぐくむ「教育コミュニティ」づくりの推進（16校下、2,000人）
- ②区における生涯学習事業
 - ・生涯学習ルーム等の学びを通じた地域住民間の交流を促進することによるコミュニティづくりの推進
- ③教育会議の開催

【1-1-3 城東区ゆめ～まち～未来会議・アイラブ城北川実行委員会と協働したまちづくり】

- ①「城東区ゆめ～まち～未来会議」が自律的な活動を継続して展開できるよう支援する。
 - ・SARUGAKU祭、合唱祭、第九演奏会等
- ②アイラブ城北川実行委員会と協働し、地域住民、地域活動団体、学校、企業など、幅広い層と協力して各種事業を実施する。
 - ・城北川フェスティバル、キャンドルナイトin城北川等

【1-1-4 音楽にあふれるまちづくり】

- ①区内の中学生が音楽を通して交流する機会を提供する。
 - ・吹奏楽フェスティバル
- ②区役所庁舎を活用し、区民に身近なところで気軽に音楽にふれあえる機会を提供する。
 - ・ロビーコンサート（年間5回）
 - ・音楽の祭日
- ③区民組織が主体となって開催する音楽事業への支援
 - ・合唱祭（再掲）
 - ・第九演奏会（再掲）

戦略1-1の具体的取組

【1-1-5 スポーツを楽しむつながるまちづくり】

区民へのスポーツの機会の提供

- ①ミニマラソン・小学校駅伝大会
- ②区民スポーツ大会（11大会）
- ③城東区スポーツカーニバル

【1-1-6 花と緑と人を育むまちづくり】

- ①「はなびとコスモスタッフ」「緑のカーテンサポーター」をはじめとする緑化ボランティアの育成
 - ・緑化リーダー育成講習会（年間6回）
 - ・緑のカーテン推進事業
- ②緑化ボランティアの活動促進と支援
 - ・種から育てる地域の花づくり事業
 - ・地域の緑化ボランティアグループ活動の支援



用語解説

「地域活動協議会」

自分たちの「まちづくり」を住民自身がみんなで決め、解決していく場として、小学校区ごと全16地域にあります。

地域まつり、ふれあい喫茶、子育てサロン、百歳体操、防災訓練、防犯活動をはじめ、運動会、敬老行事、成人の日のつどい、緑化・清掃活動、街路防犯灯の管理など、地域それぞれの特徴ある自由な取組が行われています。

この地域活動協議会は、これまで地域活動に取り組んでこられた地域振興会や校下社会福祉協議会などの様々な団体に加えて、学校、病院、企業、商店街など地域のみんながまちづくりに参加できます。

